

第2回横浜市泉寿荘指定管理者選定委員会 会議録概要	
対 象 施 設	老人福祉センター横浜市泉寿荘
日 時	令和8年8月18日（火）午後1時～午後3時10分
開 催 場 所	横浜市泉区役所 4AB 会議室
出 席 者	選定委員：岡本委員長、上原委員、萩原委員、林部委員、横内委員 （計5名）
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者0人）
議 題	1 指定管理者応募書類審査及び面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	老人福祉センター横浜市泉寿荘の指定候補者に「特定非営利活動法人中川コミュニティグループ」を選定
議 事	1 開会 事務局から、委員の定足数を確認し、「横浜市泉寿荘指定管理者選定委員会運営要綱」第7条第3項の規定により、委員会が成立していることを報告 2 事務局説明 (1) 資料確認 (2) 委員会の公開・非公開 第1回選定委員会の決定により、応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答までを公開とし、その後の委員による審査部分については非公開とすることを確認 (3) 委員会の流れ 面接審査の後に総括審査を行うことを説明 (4) 応募団体について 応募団体は1団体であり、欠格事項に該当しないことを確認した。また、応募が1団体であるため、団体名を公開した上で面接審査を行うことを説明 (5) 評価について 評価基準項目のうち「7 加減点項目」について説明 ア「(1) 市内中小企業等であるか」について 応募団体は、「地域住民を主体とした施設の管理運営等のために、地域住民を中心として設立された団体」に該当することから、当該評価項目については5点を加点することを確認 イ「(2) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況」について 応募団体から当該項目に該当する取組に関する申出がなかったため、当該評価項目の評価点は0点となることを確認 (6) 最低基準点について 最低基準点は、加減点項目を除く委員点数合計450点の60%に当たる270点となることを確認 3 応募団体の財政状況について 林部委員より、応募団体の経営状況及び財務状況に支障がない旨の説明及び報告

4 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）

(1) 団体プレゼンテーション（特定非営利活動法人中川コミュニティグループ）

(2) 質疑応答

(委 員) 監事監査について、監査は団体内部の監事が行っているという理解でよろしいか。

(団 体) 当法人では監事2名を選任しており、その監事が監査を実施している。

(委 員) 施設の老朽化が進む中、今後大規模な修繕が必要となった場合の財源確保について伺いたい。

(団 体) 年間200万円を超える修繕が必要となった場合は区と協議の上で対応することとなっている。それまでは指定管理料の範囲内で対応していく考えである。

(委 員) 事業計画には多くの講座が掲載されているが、実際の参加状況はどうか。

(団 体) 多くの講座で定員を超える応募があり、抽選となる事業も少なくない。全体として高い参加実績となっている。講座によっては応募者が多く、追加のクラスを設けて実施した例もある。

(委 員) 泉寿荘は交通の便や駐車場の面で課題があると感じているが、どのように対応しているのか。

(団 体) 施設の課題として認識している。イベント時には近隣施設の協力を得て駐車場を確保しているが、敷地の制約もあり、今後も改善に向けて取り組んでいきたい。

(委 員) 副所長については有資格者とし、保健師を配置するとのことであるが、その考え方について伺いたい。

(団 体) 高齢者の交流や生涯学習だけでなく、福祉的支援の充実が求められていることから、保健師を配置し、相談機能の強化を図りたいと考えている。

(委 員) 副所長を週4日勤務としている理由は何か。

(団 体) 人件費と施設運営全体の収支バランスを考慮した結果である。

(委 員) 修繕費の計上額が昨年度実績より少ない理由について伺いたい。

(団 体) 修繕費と備品購入費を一体的に考え、状況に応じて柔軟に執行することを想定している。

(委 員) 貴法人は4つの連合町内会を基盤として運営されているとのことであるが、自治会・町内会加入者が減少する中で、団体運営についてどのように考えているか。

(団 体) 加入者減少は大きな課題であると認識している。法人として地域活動への理解促進や参加機会の創出に取り組みながら、地域に根差した運営を継続していきたい。

(委 員) 実際に加入者数は減少しているのか。

(団 体) 減少傾向にあるが、4つの連合町内会との連携は強く、多くの協力をいただきながら法人運営を行っている。

(委 員) コロナ禍以前の利用者数に戻っていない要因についてどのように分析しているか。

(団 体) コロナ禍で利用者やサークル会員が減少したことが大きな要因である。

	現在は新たな利用者を迎えながら回復を図っており、コロナ前の水準に近づいている。また、人口構成の変化や高齢者の就労率上昇により、老人福祉センターに求められる役割も変化している。利用者ニーズに応じた施設運営が今後の課題であると認識している。 5 総括審査 「特定非営利活動法人中川コミュニティグループ」が出席委員の合計点 426 点 / 550 点を獲得した。加減点項目を除いた合計点は、362 点となり、最低基準点の 270 点以上を満たしていることから、同団体を指定候補者に選定した。なお、応募団体が 1 団体であったため、次点候補者は該当なしとした。 (講評) ・長年にわたり安定した運営が行われており、特に地域との連携について高く評価した。財務面についても安定した状況が確認できた。 ・多くの事業で定員を上回る応募があるなど、利用状況が良好である点を評価した。 ・施設の老朽化が進む中でも適切な維持管理が行われており、安定した運営がなされていると感じた。 ・利用しやすい施設運営が行われており、職員の対応も丁寧である点を評価した。利用者の満足度が高い施設であると感じた。 ・講座から自主的なサークル活動へと発展し、その活動を継続的に支援している仕組みを高く評価した。高齢者の生きがいがづくりや仲間づくりに大きく寄与していると感じた。 ・地域住民が主体となって設立した NPO 法人による地域に根差した運営が行われている点を評価した。 ・自治会・町内会加入者の減少などの課題についても現状を的確に把握し、今後の対応について具体的な考えが示された。 ・事故防止や緊急時対応については、さらなる充実が期待される。 6 区長への報告 選定結果報告書を作成し、泉区長へ提出する。 7 その他 選定結果報告書及び会議録については、委員長に確認を一任する。
資 料 ・ 特 記 事 項	1 資料 (1) 第 2 回横浜市泉寿荘指定管理者選定委員会次第 (2) 横浜市泉寿荘指定管理者選定委員会 評点表 (3) 応募団体の市税納付状況の照会結果 (4) 応募団体の暴力団排除条例に関わる照会結果 2 特記事項 特になし